

読響

Yomiuri Nippon
Symphony
Orchestra
55th Anniversary

至芸、ここに極まれり。

飯守×フレイレ 二人の巨匠が競演

BRAHMS & WAGNER

PIANO: NELSON FREIRE

奥深い解釈で聴衆を虜にする世界的巨匠
ピアノ: ネルソン・フレイレ

CONDUCTOR: TAIJIRO IIMORI

ドイツ音楽を得意とする熟きマエストロ
指揮: 飯守 泰次郎

ブラームス: ピアノ協奏曲 第2番 変ロ長調 作品83

Brahms: Piano Concerto No. 2 in B flat major, op. 83

ワーグナー: 舞台神聖祭典劇「パルジファル」から第1幕への前奏曲

Wagner:

"Parsifal" Vorspiel

舞台神聖祭典劇「パルジファル」から"聖金曜日の音楽"

"Parsifal" Karfreitagszauber

楽劇「ワルキューレ」から"ワルキューレの騎行"

Walkürenritt

歌劇「タンホイザー」序曲

"Tannhäuser" Overture

コンサートマスター: 長原 幸太
Concertmaster: Kota Nagahara

読売日本交響楽団 第604回 名曲シリーズ
Popular Series, No. 604

2017年 7月7日(金) 19時開演 東京芸術劇場 コンサートホール
Friday, 7th July 2017 19:00 / Tokyo Metropolitan Theatre

S¥7,500 A¥6,500 B¥5,500 C **SOLD OUT**

お申し込み・お問い合わせ 読響チケットセンター 0570-00-4390 (10時~18時・年中無休) <http://yomikyo.or.jp/>

主催: 読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビ、読売日本交響楽団 助成: 文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術創造活動活性化事業) 事業提携: 東京芸術劇場

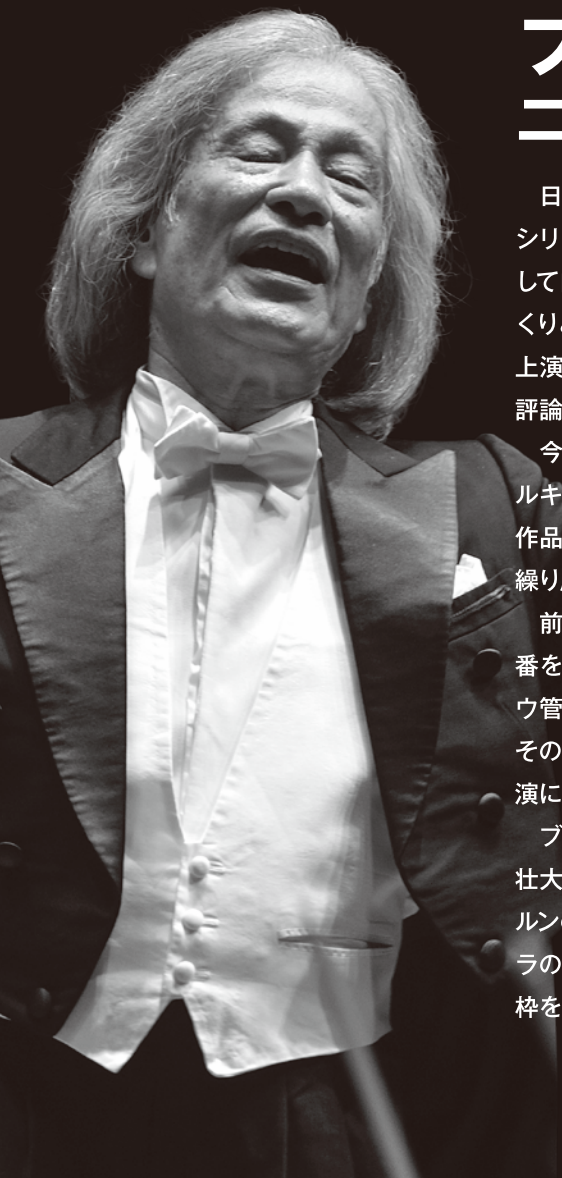
ブラームス×ワーグナー 二人の巨匠、飯守泰次郎とフレイレが競演。

日本を代表する巨匠指揮者のひとりで、ドイツ音楽を得意とする飯守泰次郎が、久々に読響のシリーズ公演に登場する。飯守は現在、新国立劇場オペラ芸術監督を務めており、その集大成として自らの指揮でワーグナー《ニーベルングの指環》公演が進行中だ。10月には同公演の締めくくりとして、読響が初めて新国立劇場主催公演のオーケストラ・ピットに入り、《神々の黄昏》を上演する。飯守と読響によるワーグナー演奏は、2012年の二期会《パルジファル》でも聴衆や評論家から絶賛されており、《神々の黄昏》にも期待が高まっている。

今回、この両者の組み合わせが一足先に実現し、《パルジファル》の“聖金曜日の音楽”、「ワルキューレの騎行」、《タンホイザー》序曲などワーグナーの名管弦楽曲を披露する。ワーグナー作品を知り尽くした飯守のタクトで、息の長い旋律が朗々と奏でられ、力強く心を震わす演奏が繰り広げられるだろう。

前半は、世界的ピアニストのネルソン・フレイレを独奏に迎え、ブラームスのピアノ協奏曲第2番を演奏する。ブラジル出身で72歳のフレイレは、ベルリン・フィル、ロイヤル・コンセルトヘボウ管、バイエルン放送響など世界の一流楽団と共演を続ける巨匠。今まさに円熟の頂点を迎え、その滋味豊かな表現力やスケールの大きい構成力は聴く者を圧倒する。読響とは28年ぶりの共演になる。

ブラームスの中でも傑作の呼び声高いピアノ協奏曲第2番は、オーケストラとピアノが相まって壮大な世界を描き、ブラームス独特の渋みを帯びた豊潤な響きに溢れている。悠々とたなびくホルンの音色や、愛しむように歌うチェロのソロなど、味わい深い旋律が特徴だ。そんなオーケストラの分厚い響きの波に囲まれて、ピアノ独奏はゆったり泳ぐように進み、「ピアノ協奏曲」という枠を超えた一体感を生む。巨匠フレイレが紡ぐ深遠な音楽に、どっぷり身をゆだねたい。



©読響

飯守 泰次郎 (指揮)

Taijiro Iimori, Conductor

ドイツ音楽で名を馳せる日本を代表する巨匠。桐朋学園大学音楽科卒。ミトロプーロス国際指揮者コンクール第4位、カラヤン国際指揮者コンクール第4位。以後めざましい活躍を続け、読響、マンハイム市立歌劇場、ハンブルク州立歌劇場、レーゲンスブルク市立歌劇場の指揮者を歴任、オペラ指揮者として確固たる実績を築き上げる。70年からはバイロイト音楽祭の音楽助手として数々の歴史的公演に加わり、元総監督ヴォルフガング・ワーグナーから絶大なる信頼を得た。その後、オランダ・エンスヘデ市立歌劇場第一指揮者、名古屋フィル、東京シティ・フィル、関西フィルの常任指揮者を歴任。2014年から新国立劇場第6代オペラ芸術監督を務めている。現在ワーグナーの楽劇《ニーベルングの指環》四部作に取り組んでおり、締めくくりとして今年10月に《神々の黄昏》を指揮する。03年度芸術選奨文部科学大臣賞、04年紫綬褒章、10年旭日小綬章、12年度文化功労者、12年度日本芸術院賞。

ネルソン・フレイレ (ピアノ)

Nelson Freire, Piano

ブラジル生まれの世界的巨匠。1944年生まれ。12歳でリオ・デ・ジャネイロ国際コンクールに入賞。59年に国際舞台での活動を開始し、世界各地で演奏を展開。これまでケンペ、ヨッフム、マゼール、小澤征爾、ブーレーズ、マズア、デミルカーノフ、ゲルギエフ、ルイーザら巨匠の指揮で、ベルリン・フィル、ロイヤル・コンセルトヘボウ管、ニューヨーク・フィル、バイエルン放送響、ロンドン響、ミュンヘン・フィル、シカゴ響などと共演。世界の著名ホールでリサイタルを開催し、アルゲリッチとのデュオでのツアーは歴史的な成功を収めた。録音も数多く、中でもシャイー指揮ライブツィヒ・ケヴァントハウス管との「ブラームス：ピアノ協奏曲全集」は、07年の米グラミー賞にノミネートされたほか、年間最優秀ディアパゾン・ドール賞、英グラモフォン賞の協奏部門賞と併せて年間最優秀賞にも輝くなど賞を総なめにした。11年フランス政府からレジオン・ドヌール勲章シュヴァリエを受章。

©Fabrice Boissiere



読売日本交響楽団 第604回 名曲シリーズ

2017年 **7月7日** (金) 19時開演

東京芸術劇場 コンサートホール

S ¥7,500 / A ¥6,500 / B ¥5,500 / C **50% OFF**

東京都豊島区西池袋1-8-1 Tel. 03-5391-2111

●JR・西武池袋線・東武東上線・東京メトロ「池袋」駅西口より徒歩2分（※駅地下通路2b出口と直結しています）

託児サービス 東京芸術劇場には一時託児施設があります（公演1週間前までに予約）。長谷川キャリアサポート株式会社 わらべうたBS課 0120-415-306（予約受付：平日9時-17時）

学生券：学生の方は、開演15分前に残席がある場合、¥2,000で入場できます（要学生証／25歳以下）。ただし席を選ぶことはできません。開演1時間前から受付で整理券を配布します。

■都合により曲目、出演者等が一部変更になる場合もございます。あらかじめご了承ください。■未就学児童のご入場は、固くお断りいたします。

読響チケットセンター 0570-00-4390

*10時-18時・年中無休

読響チケットWEB <http://yomikyo.pia.jp/>

*座席選択してチケットをご購入いただけます（一部、携帯電話、スマートフォンなどを除く）。*郵送でチケットを受け取る場合、送料は無料です。

プレイガイド：チケットぴあ 0570-02-9999、東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296